

令和 7 年 10 月 定 例

教 育 委 員 会 会 議 録

令和7年10月 定例飯舘村教育委員会会議録

- 1 招集日時 令和7年10月20日（月）午後3時30分
- 2 招集場所 飯舘村交流センター「ふれ愛館」視聴覚室
- 3 出席委員
- | | |
|----------------|--------|
| 教育長 | 高橋 澄子 |
| 教育委員（教育長職務代理者） | 高橋 祐一 |
| 教育委員 | 庄司 智美 |
| 教育委員 | 高橋 世津子 |
| 教育委員 | 佐藤 修治 |
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席した者
- | | |
|--------|-------|
| 教育課長 | 三瓶 真 |
| 指導主事 | 三品 勝彦 |
| 生涯学習課長 | 山田 敬行 |

- 6 開 会 午後3時48分

- 7 日程第1 教育長あいさつ

教育長 教育委員の皆様、こんにちは。

招集日時、10月20日月曜日午後3時を3時30分に変更していただき、そして実際始まったのは、48分になってしましまして、大変申し訳ありませんでした。村長ヒアリングが長引いてしましまして本当に申し訳ありませんでした。

改めまして、本当に何かとお忙しい中、10月の定例教育委員会に、教育委員の皆さんにご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日は庁舎ではなく、26日日曜日に行われる、いいたて秋まつりの準備真っただ中のふれ愛館での開催となり、少し落ちつかない感じではありますけれども、暑さも一段落つき、山の木々も色づき始め、過ごしやすい季節になったように思います。その中での定例会、どうぞよろしくお願いいたします。

この1か月間の事業につきましては、詳しくは両課長が報告をいたしますが、私からも少しお話をさせていただきます。

まず、9月27日の「いきいきわくわく学びの旅」の報告会ですが、教育委員の皆様にもご参加をいただき、予定した1時間ちょうどで行うことができました。子供たちも、今持てる表現力を駆使して発表することができていたと思います。後日、民報新聞にも大きく取り上げていただきまして、うれしく思ったところです。

また、次の日にはこども園で運動発表会を学園の第2体育館で行いました。最初から体育館で行う発表会なので、天気心配もなく済み、多くの保護者

に見守られながら、走ったり、跳んだり、踊ったりと、園児たちは体いっぱい使って表現をしていました。

その1週間後の、10月5日に行われた敬老会に、園児15名がステージで踊りを披露してくれました。敬老会に会場の子供たちが姿を見せると、一気に華やかな雰囲気となり、子供たちに魔法をかけられたような気がいたしました。

また、その1週間後の12日にはPTA主催のいいたてっ子秋祭りが行われ、ボウリングサッカーや千本つり、輪投げや射的、水ヨーヨーにスーパーボールすくいを楽しみ、最後は大ビンゴ大会、佐藤委員にも参加していただきました。本当に盛り上がりまして、景品が豪華で、はずれなしで大盛り上がりでした。

その次の日に村民スポーツ大会がありましたが、景品が1つもなく、何か少し寂しいなと思ったところです。

さらには、10月9日に相双教育事務所の指導訪問もありまして、さすがに日程の調整をしてほしいと訴える声をこども園から上げていただきまして、来年は、しっかり考えていかなければならないなと思っているところです。

さて、今週の土曜日には赤蜻祭が行われます。教育委員の皆様にはお忙しいとは思いますが、ぜひともご来校いただき、子供たちの発表を見ていただければ幸いです。また、いいたて秋まつりでは、ふれ愛館にこども園、学園、学童の子供たちの作品が展示されます。併せてこちらのほうも見ていただければありがたいです。

スポーツの秋も実り多い秋です。学園の後期の生徒たちは新人戦で、力を発揮してくれました。まず、9月27日、28日にはバドミントンの新人戦があり、ベスト8まで男女とも勝ち上がったと聞いております。また新人陸上大会では、県大会で100メートル男子に1人出場しております。県大会に行けるといのはなかなかのことですので、大変すばらしい成績だったと思います。

生涯学習課におきましては、毎週のようにある事業に職員一同一丸となって取り組んでおります。村史編さんにおいても、座談会やサロンでの聞き取りなども行っています。

それでは、本日の議事日程につきまして慎重な審議をよろしくお願いいたします。以上です。

8 日程第2 会期の決定及び書記の指名

教育長 会期は令和7年10月20日の1日間、書記は、三瓶 真教育課長を指名。

全 員 異議なし。

9 日程第3 令和7年9月定例教育委員会会議録の承認について

教育課長 (資料に基づき説明)

教育長 令和7年9月定例教育委員会会議録について説明がありました。委員の皆様からご質問、ご意見をお受けしたいと思います。

高橋(世)委員 課長から、検討事項の経過について只今詳しく口頭で説明ありましたが、申し訳ありませんが、ワンペーパーでいいので、まとめたものをいただければと思いました。

教育課長 承知いたしました。

教育長 ほかにないでしょうか。

全 員 なし。

教育長 それでは、ご質問、ご意見等ないようでございますので、日程第3の令和7年9月定例教育委員会の会議録については承認ということによろしいでしょうか。

全 員 はい。

教育長 ありがとうございます。

10 日程第4 諸報告について

教育課長 (資料に基づき説明)

生涯学習課長 (資料に基づき説明)

教育長 ただいま教育課、そして生涯学習課より主要な行事日程等について報告がございました。委員の皆様からご質問、ご意見等ありますでしょうか。

私から。一つ、敬老会のこども園の園児は15名参加です。

教育課長 失礼いたしました。

教育長 とてもかわいくステージで踊ってくれました。高橋世津子委員からも心配されていましたが、御礼のお菓子セットも子供たち一人一人に配られております。

高橋(世)委員 よかったです。それが大事です。

高橋(世)委員 生涯学習課に2つほど質問があります。まずは9月29日の村史編さん座談会です。いろんな意見が出たということなんですが、その内容を教えてください。あとは、11月14日の読書推進意見交換会は、お知らせを見ましたが、これは生涯学習課が中心になってやろうとしたのか、それとも読み聞かせや読書ボランティアの方々が企画した内容なのか、確認します。

教育長 まずは村史座談会についてです。

生涯学習課長 座談会には8人の方に参加していただきました。主な内容であります、前回、村史を作成した多田 宏さんからは、どのように整理して進めたかなどのお話を中心に、村史に載らなかった内容もあったというお話もありました。今、庁内では東日本大震災以降の資料の収集を先行的にやっていますが、震災以降の記録はある程度まとまっているので、別紙資料にありますが昭和50年代以降の書類をどのように収集するのか、残すべき項目を整理すべき、関係した村民は高齢になっている、もしくは亡くなっている方もおられるという中で、取材なりインタビューを急ぐべきとの意見もありました。生涯学習課では行政区で活動している7、8地区のサロンに出向いて高齢者の方に当時の話を聞いて取材を行っています。長正増夫さんからは、新聞の切り抜きや当時のチラシなどのいろいろな貴重な資料は持っているので、協力できますという意見がありました。村民へ写真などの資料提供の依頼は今後、募集をかけていきたいと思えます。ただ、委員からは編さん委員会を立ち上げて前に進めるべきではないかとの意見もいただいております。事務局としては、今回、座談会に参加いただいた8人の方にも協力いただき、編さん委員会に入っていきたいと考えています。2回目の座談会は11月に行う予定であります、村史のまとめ方は

こうしたほうがいいという、いろいろな意見がでました。当然、生涯学習課だけでは進めることはできないので、庁内各課や村民の協力を得ながら進めていきたいと考えています。今、手元に資料がないので、ざっと説明しました。

教育長 私からは、当日の内容をノートにまとめたものを少し紹介しますと、佐藤俊雄さんからは、避難生活を証言録や苦労話などを、新聞やテレビなどからも集めて別冊で残すべきではないか。あとは、真野ダムのはきはきちんと残しておくべきとか、牛の競りがあったことも残しておいたほうがいいなど、いろんな話がありました。佐藤真弘さんからは、昭和51年以降は本当に飯舘村がすごく活気のあった時代だったということで、その内容はしっかり残しておかなければ、とのことでした。あとはデジタル化を図ったほうがいいというお話もいただきました。高木久子さんからは村が誕生した年に生まれ、その当時は学校に子供たちがいっぱいいて、とても楽しかったという話がありました。三瓶課長からは、村役場に入って広報担当は大変な仕事でしたが村民からいろんな話を聞くことができた、総合振興計画も村民で一生懸命考えて作ったという話がありました。あと草野周一さんからは、昭和の後半から平成の中頃までは飯舘村は元気であったことをとても覚えているというお話をいただきました。あと委員から共通して言われたことは、昭和55年の冷害と大雪です。冷害でお米が取れず、何とかしていかなければということで、飯舘牛や牛肉フェスティバルなどの取組み、村づくり、村おこしにつながって飯舘村が有名になっていった内容は絶対に残さなくてはいけない、とのお話でした。あとは伝統芸能も語り継いでいかななくては、映像も残していかななくては、という意見がありました。項目を整理して何を残していくのか、どのぐらいのボリュームで発行するかなど、いろんな意見があった座談会でした。

高橋（世）委員 先日の敬老会では村の歴史をまとめた映像を流していました。あの映像は震災前の10年ごとに、いいたてミートバンク、昭和55年の冷害と大雪など村の歴史がまとまって整理された内容でした。私は昭和55年に役場に入ったので、12月の大雪の当日は炊き出しをしたり、バスで帰れない人は公民館に泊まったりしたことを思い出しました。年代ごとに村民が覚えていることがあると思うので、本当に大変な作業だとは思いますが、聞き取りしていくしかないのではないかと思います。そこから飯舘牛のミートバンクとかミートプラザとか、農協さんと一緒になって飯舘牛フェスティバルをやったなど、いろいろな歴史の流れがあるので、いろんな人に聞き取るしかない作業が必要だと思います。

教育長 大倉のサロンに行きましたが、1時間の予定だったのが2時間以上で、真野ダム、葉山祭りなど、いろんな話がありました。これから地道に聞き取りをしていきます。あと、課長からも話があったように、一般募集になるかもしれませんが編さん委員会をしっかりと組織して、村史を作り上げていく必要があると思います。前の村史は9年かかったらしいですが、9年もかけずにできるだけ短い期間になるように作るべきと考えています。

高橋（世）委員 それには予算をとって専門の人に入ってもらって、まとめてもらうことはできないんですか。

教育長 村史をまとめることには専門業者になると思います。

生涯学習課長 原稿をまとめる編さんの作業は、前の村史編さんでは、考古学なら大学の先生など専門家が入っていましたが、今後作成する昭和50年代以降の近現代となると、大学の先生でいいのかどうかの検討事項があります。大学の先生ではなく、例えば、文章に長けている方、広報をやっていたとか、新聞記者などが考えられるかなと思います。若い人も見られるデジタル化や長々と文章を書いても読まないだろうという声も出たので、広報写真、チラシなどを集めながら分かりやすい内容で整理したいと考えています。

教育長 そういう専門的なところに、これだけの資料がありますので整理をお願いしていく、まとめていく予算取りをしてやっていくような形になるかなと。9年はかけられないと思います。

高橋（世）委員 9年は大変です。

教育長 そうなんです。前回の村史も、後から出てきたデータ、資料があったそうです。

生涯学習課長 本をまとめるためにはどこかで内容を切らないといけないと多田さんも言っていました、いずれにしても時間はかかると考えています。

高橋（世）委員 そう思います。

生涯学習課長 もう1点、11月14日の読書推進意見交換会です。きっかけは、横山議員から読書活動は大事な事業なので、村民の声を聞いてもらえる場を作ってもらえないかという提案が発端であります。図書に興味のある方とか、こうしたほうがいいんじゃないかという人はぜひ来ていただいて、率直な意見を聞く場を設けました。もちろん図書ボランティアの方も出席します。以上です。

高橋（世）委員 ごつくばらんに聞く会という内容で分かりました。

教育長 佐藤委員、お願いします。

佐藤委員 はい。PTAの村祭りと、移住促進ツアーが同日でしたよね。実際学校見学に来たときどんな意見がありましたか。

教育課長 移住定住ツアーに参加して出た意見は、ひとつは学校施設です。こども園と学校が1つの敷地にあって、彫刻が置いてあったり、木をふんだんに使ったりして温みがあることや2階の多目的ホールの空間は小中学校では見たことがなく、大学みたいところで非常に素晴らしいという話でした。あとは、子供たちのプライバシーといいますか、更衣室も整っていて、これが以前から造られたとは思えないということで感動した、そういう内容の意見は聞かれました。

他はソフト面です。少人数教育ということで、子供が少なく2、3人のクラスもあるので、ちょっと寂しいという話がありました。あとはスクールバスに1時間かけての通学は大変だねという話もありました。夏休みの北海道研修や海外への語学研修では、安価でオーストラリアに行けることはすごいとの感想で、そこは非常に興味深く聞いていただいた感触がありました。また、イングリッシュルームというのがあって、子供たちが中学校の英語の免許を持っている先生方が入って、ALTの人も来て、英語の勉強をやっているというのがとても素晴らしいというお話もいただきました。あとはこども園で本がたくさん置いてあって、本当に本に親しんでいる環境であり、さらにハイタッチの手袋、これは何でついているんですかということで、これは子供たちがその手袋、ハ

イタッチして歩くと説明しましたら面白い工夫していますね、という話もあったところです。

教育長　今回は、いいたってっ子秋祭りのときに抱き合わせでやったということで、校舎の中に子供たちの声があり、保護者の方たちの姿が見えたということで、同じ時間にやれたのはすごくよかったと、ツアーの業者から好印象だったお話をいただきました。保護者が頑張っていた姿がとても印象に残ったようです。

佐藤委員　ですので前もって分かっていたら、参加者が11人ぐらいでしたら、秋祭りに参加できればよかったのかなと思いました。

生涯学習課長　学校見学の時間は1時間でその後の行程もあったので秋祭りへの参加はなく学校見学だけの時間となりました。

教育長　子供たちの姿と保護者の頑張っている姿はすごく印象に残ってよかったと思います。今後、移住して学校に入学してくれるといいと思います。

高橋（世）委員　都会から比べれば建物やその中の彫刻とかが、昔に建てた学校じゃないけど、その良さは、私たちは気づかないけれども、他から来る人は気づくのだと思いました。

生涯学習課長　3家族とも初めての飯舘村で浜通りにも何か所か興味があるということですが、沿岸部とは違う環境ということは感じていただいたと思います。あとは少人数という点で、すごくきめ細かな教育環境という部分と、入学が毎年1人、2人だけでなく0人の年があるんですかとの質問もあり少し心配との声も聞いています。いずれにしても、移住には、仕事と住む場所が重要で、医療環境を加えて納得しないと決まらないというのは、非常に感じました。ただ、学校施設は皆さんすばらしいと言っていました。

教育長　すばらしいと思います。

佐藤委員　スクールバスもドア・ツー・ドアで来てくれます。

高橋（世）委員　学校はすばらしいので、医療環境や病院など他の点を伸ばさないと。

生涯学習課長　施策としてということですね。

高橋（世）委員　外部の人の意見を聞くというのは大切なことなので、参考にしてほしいと思います。

教育長　そうですね、学校だけの問題じゃなくて、いろいろ村全体で取り組んでいかなければならない内容なのかなと思います。

高橋（世）委員　だから総合教育会議が大事だと思うんですよ。

教育長　そうですね。

高橋（世）委員　年に1回の開催では少ないと思います。以前教育委員会で言いましたが、どうでしょうか。

教育課長　検討していきます。

高橋（世）委員　ですから、教育委員会が出たことは会議で協議すべきだと思いますよ。

教育長　そうしましょう。あと、ほかにございませんでしょうか。佐藤委員。

佐藤委員　ふくしま駅伝に関してですが、団体では参加しないということですがけれども、他のチームとして参加することは検討しましたか。

生涯学習課長　市町村単独で参加できない葛尾村や桧枝岐村などの町村で希望ふくしまという合同チームがありますが、事務局へ確認したところ、これまで参加して

いる町村で練習や連携してやっており、その団体の声を聞かないといけな
いため、新たにチームに入ることは難しいと言われました。

高橋（世）委員 そうなんですか。

生涯学習課長 参加している町村で、今年のこの区間はこの町、この区間は
この村と前年から調整して練習しているようです。一方で希望ふくしまに
参加すると、飯舘村としてのたすきはつながらなくなります。ですので、
飯舘村チームではなく個人の参加として走っているような印象になるこ
とも考えられます。一度参加すると飯舘村としての参加は難しくなり、
前半でも後半でも飯舘村のたすきをつなげられればと担当としては思っ
ています。繰り返しですが、将来的な参加はともかく、今年の希望ふく
しまの参加はできないことを福島民報社に確認しました。

教育長 よろしいでしょうか。

全 員 はい。

教育長 続きまして2の令和7年度学校教育指導の重点評価結果につい
て、事務局から説明をお願いします。

指導主事 （資料に基づき説明）

教育長 ただいま、指導主事から令和7年度学校教育指導の重点の評価
結果についてのご報告がございました。委員の皆様からご質問、ご意見
等ありますでしょうか。

高橋（世）委員 12ページの自由記述の中で、食育は栄養士が常駐して
いることから、行いやすくなった。調理員も変わったことで調理にも
変化が出て、よい方向につながりつつあるが、まだ改善点は多いとい
うことですが、これは調理員が変わったのですか。以前は悪かったの
でしょうか。

指導主事 そういうことはありません。こども園の評価の部分なのですが、
退職された方が2名いらっしゃって、それで変わったので、ということ
です。やはり人が変われば調理方法などいろいろ変わってくるというこ
とです。

高橋（世）委員 さらによくなったが、まだ改善点は多いと。

指導主事 はい。まだこども園の給食作りがスタートして6か月程度な
ので、子供の個々の実態などもあります。そういうところで改善が必要
なのかなということがあります。ただ、栄養士が常駐していることから
行いやすくなったということでは、栄養士が毎回行事食などのときには
、実際に魚を子供たちに見せて、触らせて、これがこういうふうになっ
ているんだよとか、それから実際に買ってこれないときには、この前は
カツオの魚を模型で作ってきて、それをこんなのが泳いでいて、とい
うふうに、具体物を、やっぱり子供なので、具体的なものを見せなが
ら指導しているということで、そういったことが食育の活動として大
きく子供たちには影響しているかと。なので、特に食わず嫌いの子た
ちなどは、じゃあ食べてみようかということで、食べていたということが
ありました。それから、調理員の方が調理をして、やっぱりその後、
子供たちがどういうふうに食べているかということで、子供たちの様
子を見る、といったことも昨年度から行われていたりしているので、
そういう点では、いい方向に進んでいるかと思います。

高橋（世）委員 分かりました。ありがとうございます。

教育長 そのほかございませんか。佐藤委員、お願いします。

佐藤委員 働き方改革の推進の管理職ですけれども、ほぼ計画どおりに実践しているが、成果を出すには計画の見直しが必要。2名いますが、残業というか、時間的にはどうなのでしょう。

指導主事 学校のほうでは管理職から早期退勤を勧めています。ただ、どうしても学校の仕事上、教材研究などを残ってやるということもありますので、そうした部分が出ているのかなとは思いますが。ただ、毎週水曜日はノー残業デーとしておりますのと、それから残っても6時までには帰るようにと、部活動が終わるまでには帰ってということで進めているので、希望の里学園を見てみると、ほかの学校から比べれば残業で残っている先生というのは本当に少しかというふうに感じます。

佐藤委員 その辺、分かりませんが、テストの採点、丸つけとかは、自宅に帰ってということ、今はないですか。

指導主事 人数が少ないので、短時間で採点はできるのが現実です。それに持ち帰はまずないです。

佐藤委員 そうした個人データが外に流出するようなことは今はやっていないと。

指導主事 それはないです。もしも、そういう場合は必ず管理職を通して申し出てから持っていくのですが、基本的にはないとみています。

佐藤委員 分かりました。ありがとうございます。

教育長 希望の里学園は、ほかの学校に比べるとすごく働きやすい学校だと思います。遅くても6時半にはもう電気は消えているぐらいですので、残業は少ないかと思っ

指導主事 学校現場は、どうしても波があり、行事があるとき、それから年度末だと高校入試があつたりと、そういうときには遅くなったりはしますが、基本的には教育長が話されたように6時半頃には大体、電気が消えているような状況だと考えます。

教育長 先生方も少人数ですから、例えば赤蜻祭など準備のためもしかするとすごく時間がかかる。そういうときには6時半よりも過ぎてしまうということもあると思いますし、進路指導とかこれから高校入試もWebでとなりますので、落ち度がないようにと考えたときに、細々とした仕事が入ると、残業が出てくることは考えられますが、今のところはそんなに残業にという形で縛られているといった様子は見られないと思います。

佐藤委員 これから寒くなって積雪等道路状況も悪くなると思うので、気をつけていただきたいと思います。

指導主事 交通事故等起きないように、こちらもお話ししていきたいと思います。

教育長 ありがとうございます。そのほかございませんか。

全 員 なし。

教育長 では、続きまして3の学校・園の行事等状況について、事務局から説明をお願いします。

教育課長 （資料に基づき説明さらに追加で11月5日川俣町内小学校・いいたて希望の

里学園の持久走交流会について説明と出席依頼)

教育長 ただいま、教育課長より学校への行事等状況について説明がありました。委員の皆様からご質問、何か訂正ありますか。

 特にないようですので、まとめて日程第4の諸報告について、承認ということによろしいでしょうか。

全 員 はい。

教育長 ありがとうございます。

11 日程第5 その他

 11月の定例教育委員会を11月21日午後3時からとした

 12月の定例教育委員会を12月18日午後3時からとした

12 閉 会

午前17時15分 閉会

上記のとおり相違ありません。

教育長

高橋澄子

教育委員（教育長職務代理者）

高橋祐一

教育委員

庄司智美

教育委員

高橋世津子

教育委員

佐藤修治

書記：教育課長